

服薬指導（2007年、能登半島地震）



薬学生の大半は薬剤師を目指して日々学んでいることと思う。そして薬剤師は薬剤師法や薬事法などで規定され、医療法により医療人と位置づけられている。では医療とはなにか？医療とは身体的、精神的弱者を手助けしようとする行為だと私は認識している。

ヨーロッパでは薬剤師が尊敬されている。それはなぜか。中世に伝染病が流行した時、内科医は自分や家族への感染を恐れて真っ先に郊外へ逃げ出したが、薬剤師と外科医は逃

災害医療と薬剤師

げ場がなかったため、現場にとどまり住民と共に伝染病と戦ったと伝えられている（*当時外科医は床屋上がりとされ、医師仲間からは一段下に見られていた）。救いを求める人たちを己の知識・技能を駆使して1人でも多くの患者を救おうとしたからこそ、薬剤師が「尊敬する職業」の上位に名を連ねるのだ。

残念ながら私たちの先輩方はヨーロッパとは異なり、命がけで被災者を救おうとする姿を示さなかったため、薬剤師の必要性・重要性が、国民に十分理解されていないように思える。弱者のために汗を流すことなしに、国民の理解は得られない。

現場で求められる薬剤師職能—No 1

日本災害医療薬剤師学会専務理事、多田薬局（東京都）

多田 治

国民の健康維持増進、疾病の治療及び予防のために社会貢献しなければならない。なぜなら薬剤師になるために保護者が支払う授業料以外に税金や公的資金が、大学に投入されているからだ。言い換えれば国民のおかげで薬剤師の免許を得ているのだ。国民からの受益は大学卒業生全員に共通するが、医師や薬剤師ら医療関係者は高額な援助を受けているので特に感謝すべきであろう。

そして免許を取得すると病院・いわゆる調剤薬局・ドラッグストア・薬局継承や開設など様々な分野で活動するが、おのずと人付き合いの範囲もその分野に限定されやすくなり、視野が狭くなりがちだ。

そこで私たちは災害医療の旗のもと、開局薬剤師、病院薬剤師、薬局勤務薬剤師、国際協力機構（JICA）や日本赤十字社医療センター所属薬剤師などのジャンルを超えた薬剤師連携を実現し、次のステップとして患者（災害時においては被災者）を中心とした医師や看護師など他の医療職種との交流連携を深め、国民が安心できる医療の構築を最終目的としている。

スキルアップのために必要不可欠な研修はともすればマニュアル頼みになりがちだが、私たちは個人またはグループでケーススタディの手法を用い、様々な条件下でのシミュレーションを繰り返すことにより現場で対応できる判断力と技能の向上を図っている。

薬学教育が4年制から6年制へ移行して丸2年が経過し、そのカリキュラムに病院や薬局での実地研修が盛り込まれたが、経営者にとって都合の良い単なる調剤マシンに終わっていいのだろうか。弱者の痛みを感じ取れる薬剤師こそが国民が求める薬剤師像ではないだろうか。医療とは何か？を考える上で『災害医療は医療の原点』を薬学教育の中にぜひ取り入れていただきたいと願っている。

なお、前述の災害時における薬剤師活動の各論については、次号以後に詳細を掲載します。

「尊敬される薬剤師」の理由

私が所属する日本災害医療薬剤師学会(会長：西澤健司東邦大学大森病院薬剤部副部長)は2004年に発生した新潟県中越地震やスマトラ沖地震大津波の救援活動に参加した市井の薬剤師が中心となり、わが国における薬剤師の災害医療活動の普及啓発・知識技能の向上と地域住民の安心安全に役立つ薬剤師の養成を目的に、06年4月23日に設立した。昨年は国内で能登半島地震、新潟県中越沖地震が相次いで発生し、私たちも現地に入り、微力ながら医療活動を行い、薬剤師の社会貢献を示した。

今年は中国四川大地震やミャンマーサイクロン災害と海外で大規模な自然災害が発生し、その救援に国際緊急援助隊（JDR）医療チームが派遣され、薬剤師も各1人参加している。ただし、いずれも本学会会員からの派遣はなかったが、いつでも派遣要請に対応すべく約10人の会員が医療チーム登録者団体（JMTDR）に登録している。

災害医療というと医師や看護師が中心で薬剤師は関係ないと思われがちだが、薬剤師が

必要とされる業務も活動の場もかなりある。大きく分けると以下の4つが挙げられる。①医療チームの一員としての調剤業務②避難所における養生法の指導や適切な服薬指導を含むOTC医薬品の配布③避難所の環境・公衆衛生の保持改善と啓発④全国から送られる救援医薬品の仕分け作業。

知識や技能の修得は己の立身出世や蓄財のためではなく、修得したものを社会に還元し、



一般薬交付（2004年、新潟県中越地震）

HPアドレス：<http://www.saigai-pharma.jp> 連絡先：jpsdr@saigai-pharma.jp

Yakugaku Seminar

学校法人 医学アカデミー

薬学ゼミナール

平均合格率
95.7%

インターネットで国試対策!!

国試までにキミを変える! 薬ゼミのカタチ!

薬ゼミのとおきの講義がインターネットで受講可能

薬ゼミ e-School

薬ゼミのどこでもラーニング STEP1 好評配信中!

薬ゼミ e-School は、こんな方に最適...

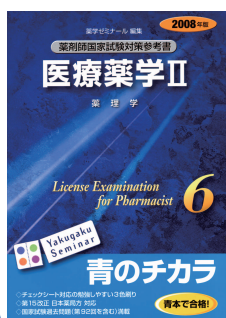
- 近くに薬ゼミがない
- 薬局実習中に少しでも勉強したい
- 現役なので薬ゼミに通えない
- まだ2年生だが国試の準備をしたい
- 反復して学習したい
- 好きな時間に学習したい
- 働きながら国試合格を目指したい
- 卒業試験・定期試験が心配だ
- 苦手科目を克服したい



薬ゼミの参考書/問題集はここが違う。

薬剤師国家試験対策参考書〈全8巻〉

基礎薬学Ⅰ(化学系)、基礎薬学Ⅱ(生物系)、衛生薬学、薬事関係法規及び薬事関係制度、医療薬学Ⅰ(薬剤系)、医療薬学Ⅱ(薬理系)、医療薬学Ⅲ(治療系)、医療薬学Ⅳ(実務系)



これができれば合格できる!

好評発売中

特徴1
チェックシート対応特徴2
索引増量、調べやすさ抜群特徴3
練習問題がいっぱい薬剤師国家試験過去問題集
〈第86~93回〉特徴1
国家試験をシンプルに特徴2
電車でも青本特徴3
15改正対応版!!特徴4
チェックシートで回答が消える特徴5
15改正対応版!!特徴6
15改正対応版!!特徴7
15改正対応版!!特徴8
15改正対応版!!特徴9
15改正対応版!!特徴10
15改正対応版!!特徴11
15改正対応版!!特徴12
15改正対応版!!特徴13
15改正対応版!!特徴14
15改正対応版!!特徴15
15改正対応版!!

「薬ゼミ」には、開校30年の伝統と全国No.1の実績があります。特記すべきことは、近年の受講者数が1000名を超えているにもかかわらず、高合格率を維持していることです。私たち「薬ゼミ」の教室には、あなたを薬剤師国家試験合格へと導くさまざまなサポートがあります。

フリーダイヤル

0120-77-8903

ホームページ <http://www.yakuzemi.ac.jp>Eメール info@yakuzemi.ac.jp

- 川越教室 〒350-1151 埼玉県川越市今福2722
- 渋谷教室 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-15 (日本薬学会 長井記念館ビル8F)
- 八王子教室 〒192-0081 東京都八王子市横山町5-15 (三井生命八王子ビル5F)
- お茶の水教室 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1-4 (ヒルクレスト御茶ノ水4F)

- 名古屋教室 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-18-1 (ナディアパークビジネスセンタービル21F)
- 大阪教室 〒530-0051 大阪府大阪市北区太融寺町5-15 (梅田イーストビル8F)
- 神戸教室 〒651-0083 兵庫県神戸市中央区浜辺通5-1-14 (神戸商工貿易センタービル17F)
- 福岡教室 〒815-0033 福岡県福岡市南区大橋1-4-31